事務事業評価表(一般事業)

評価対象年度平成28年度1次評価日(主幹等)29年3月31日2次評価日(課長等)29年3月31日

1 事業名	放課後子どもの居場所づくり事業	コード	103110

| **2 担当部課 | 部等 |** 教育部 | | <mark>課等 |</mark> 生涯学習課 | | | 作成者 | 小口喜照 |

	□ 基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育む	厓を通じて学び、豊かな心を育むまち		
	^体 政 策	生涯学習の推進	施 策	社会教育の充実	
3 事業概要	予算科目	放課後子どもの居場所作り事業費	業務委託	なし(直営)	
	実施義務なし	なし(選択的事業)	国県補助	あり	
	根拠法令	なし(選択的事業)			

●事業の内容 (D0)

5 事業の実施内容 *28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

(小学校名) (呼称と運営形態) 登録児童数 実施回数 川岸小学校 とちっこ広場 (直営型) 66名 21回 湊小学校 あそぼう日(直営型) 124名※ 18回 岡谷田中小学校 あやめ基地 (直営型) 204名※ 13回 長地小学校 おさっちあ (委託型) 171名 12回 上の原小学校 うえのはらっぱ (直営型) 101名 17回 小井川小学校 おいかわっこ(委託型) 83名 11回 神明小学校 はばたきラボ (直営型) 167名 16回

※の学校は全児童が登録する

前年度の課題への対応

コーディネータ会議において工作の勉強会を実施するなど相互の連携を図る

6	指標の達成状況 *活動指標:この事業の規模、成果指標:この事業によって得られる住民の満足度						
	区分		26年度 27年度		28年度	29年度 (予算)	
	1	活動指標(指標名)	開設日数			単位 日	
		実績値	126	128	108		
		* 指標の説明	岡谷小学校の閉校に係	半う減			
	2	成果指標(指標名)	登録児童			単位	
		目標値	996	1, 030	916	916	
		実績値	1, 030	1, 028	916		
		達成度	103. 4%	99. 8%	100. 0%		
		* 指標の説明	各学校区の活動日数合計				
		*目標値の設定方法の説明					

7 ア) コストの推移 *この事業にかかる費用(人件費は、1人あたり年間800万円で換算)

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度 (予算)
① 直接事業費	4, 703, 013	4, 996, 509	4, 220, 162	4, 792, 000
経常経費	4, 703, 013	4, 996, 509	4, 220, 162	4, 792, 000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				

補	助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度 (予算)
2	人件費	6, 400, 000	6, 400, 000	6, 400, 000	6, 400, 000
	正規職員の人数(人)	0.80	0.80	0.80	0.80
3	合計コスト (1+2)	11, 103, 013	11, 396, 509	10, 620, 162	11, 192, 000
	前年度比		102. 6%	93. 2%	105. 4%
	財源 一般財源	10, 111, 013	10, 330, 509	9, 298, 162	7, 853, 000
	内訳 特定財源	992, 000	1, 066, 000	1, 322, 000	3, 339, 000
	* 特定財源の説明	放課後子ども教室推進	進事業補助金		
4	活動一単位あたりコスト	88, 119	89, 035	98, 335	
	前年度比		101. 0%	110. 4%	
5	コストに関する補足説明				

イ)補助金負担金の状況

[単位:件、円、%]

[単位:円]

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度 (予算)
放課後子どもの居場	件数	8	8	7	7
所づくり事業負担金	金額	1, 100, 000	1, 100, 000	900, 000	900, 000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金	合計金額	1, 100, 000	1, 100, 000	900, 000	900, 000
等合計金額及び割合	割合	23. 39%	22. 02%	21. 33%	18. 78%

^{*} 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価 (CHECK)

有効性評価 *有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。 有効性	<u>標</u>	<u>準</u>	
評価項目	はい	いいえ	
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1		
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1		
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1		
④ この事業の利用者が増加した。 成果指標の実績値 前年度比 89.1%		0	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。 成果指標の目標値 達成度 100.0%	1		
	評価項目 1 この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。 2 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。 3 この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。 4 この事業の利用者が増加した。 成果指標の実績値 前年度比 89.1%	<th image="" of="" properties="" rowspan="2" td="" th<="" the=""></th>	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) スタッフの世代交代が進むかは事業の継続に重要な課題

題

(上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 行政区との連携。高齢者の団体(シニア大学等)への活動PR

改善方法

改善開始時期 平成29年4月~

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	Α
-----------	--------	-------------------------------------------	---